

「令和元年度危険物安全週間」推進行事の実施結果

危険物保安室

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」とし、令和元年度は6月2日（日）から6月8日（土）までの7日間において危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進する様々な行事を開催しました。

◇危険物安全大会

6月3日（月）に開催した「危険物安全大会」では、危険物保安功労者等の表彰式及び記念講演が行われ、開式にあたり黒田武一郎消防庁長官が式辞を述べました。

●消防庁長官式辞

令和元年度危険物安全大会表彰式を挙げるに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日の表彰式は、危険物を取り扱う事業所における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に関する意識の向上を目的とした、危険物安全週間の行事の一環として行うものでございます。

本日、表彰を受けられます皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、その御功績に対し、深く敬意を表します。

さて、令和の時代が始まりましたが、平成を振り返りますと、雲仙普賢岳の噴火、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの地震や平成30年7月豪雨などの自然災害が全国で多発し、大規模な被害が発生いたしました。

消防庁では、今後の大規模災害に備えるとともに、様々な災害に対応できるよう、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化はもとより、地域防災力の中核となる消防団・自主防災組織の更なる充実強化等の施策に引き続き取り組んでまいります。

さらに、危険物に係る事故に目を向けますと、平成30年中の危険物施設における火災及び流出事故の発生件数は平成で最も多い609件となっており、事故を未然に防ぐことが重要な課題となっています。

このためには、まず現場においてリスクを把握し、適切に操業・維持管理を行うことのできる人材を育成することが必要であり、熟練者の保安に関する知識・技術を伝承しつつ、危険物取扱者の保安講習等による教育の徹底が重要となります。また、施設全体のリスクアセスメントを適切に行い、企業として保安確保に向けたマネジメント体制を確保することが不可欠であると考えております。

本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向け、更なる御活躍と、地域社会の安全への一層の御貢献を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御出席の皆様様の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。



危険物安全大会表彰式における黒田武一郎消防庁長官

●消防庁長官表彰

- 1 危険物保安功労者（個人） 28名
- 2 危険物保安功労者（団体） 4団体
- 3 優良危険物関係事業所 39事業所
- 4 危険物安全週間推進標語
「無事故への 構え一分の 隙も無く」
杉本 湘路 氏

5 危険物事故防止対策論文

「移送ポンプ設備の位置変更にて起因して発生した
埋設配管からの流出事故について」

日下部 徹氏
(東京消防庁深川消防署)

6 感謝状贈呈

北野 大氏
(秋草学園短期大学学長・淑徳大学名誉教授)
宮崎 緑氏
(千葉商科大学国際教養学部学部長)



危険物保安功労者等の受賞者の皆様

●記念講演

北野 大氏
(秋草学園短期大学学長・淑徳大学名誉教授)
「安全・安心な社会を目指して」



北野 大氏による記念講演

◇危険物施設安全推進講演会

6月4日(火)(東京会場)及び6日(木)(大阪会場)に開催された「危険物施設安全推進講演会」では、危険物関係事業所の従業員や消防関係者を対象として、基調講演及び事件事例発表等が行われました。

●基調講演

鈴木 和彦氏
(岡山大学名誉教授 大学院自然科学研究科 特任教授)
「産業事故を防止するために」ーヒトか技術か?ー

●事件事例発表等

井川 玄氏
(千代田化工建設株式会社
ChAS・デジタルテクノロジー事業
本部長代行 兼 AIソリューション部長)
「プラント分野における
AI等の最新デジタル技術導入の動向と行方」
東山 英幸氏
(有田市消防本部 警防課 主幹)
「石油コンビナート施設における
潤滑油製造装置群火災について」



危険物施設安全推進講演会 (東京会場)

このほか、各都道府県及び全国の消防本部においても講演会、研修会、広報・啓発活動、立入検査、消防訓練、表彰式等の様々な行事が行われました。

問合わせ先

消防庁危険物保安室 企画係 菊地、鈴木
TEL: 03-5253-7524